



2022年2月14日

各位

会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング
(JASDAQコード: 3350)
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久
電話番号 050-5835-0966

営業外収益、営業外費用、特別利益、特別損失の発生および
通期業績値と前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年12月期連結決算で、以下のとおり営業外収益、営業外費用、特別利益および特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社は、業績予想を発表しておりませんが、東京証券取引所上場規程第405条第1項の規定に則り、2020年12月期（2020年1月1日～2021年12月31日）の実績値と本日開示しました2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の実績値の差異についても、合わせて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

当連結会計年度において、為替差益 96,666 千円および貸倒引当金戻入額 275,200 千円を営業外収益に計上いたしました。

当連結会計年度第4四半期で発生したものであります。

為替差益は、タイパーツとフィリピンペソによる外国通貨建ての債権を保有しているために、両通貨の為替レートの変動を受けた結果であります。

貸倒引当金戻入額は、主として債権の回収により発生したものであります。

2. 営業外費用の内容

当連結会計年度において、支払利息 209,953 千円を営業外費用に計上いたしました。

支払利息の 209,953 千円のうち、51,826 千円は当連結会計年度第4四半期で発生したものであります。

支払利息は、主として通常の銀行借入による金利のほかに、ファイナンスリースに係る利息分を加算した結果であります。

3. 特別利益の内容

当連結会計年度において、リース解約益 1,190,316 千円を特別利益に計上いたしました。
当連結会計年度第1四半期で発生したものであります。

4. 特別損失の内容

当連結会計年度において、減損損失 730,019 千円を特別損失に計上いたしました。

減損損失の 730,019 千円のうち、352,431 千円は当連結会計年度第4四半期で発生したものであります。

減損損失は、タイおよびフィリピンの固定資産の評価額を見直し、現在当社が置かれている厳しい状況を反映させるために実施したことによるものです。

5. 当期 2021 年 12 月期（2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日）と前期 2020 年 12 月期

（2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日）の前年度対比実績値の差異について

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2020 年度実績値（A）	784	△1,396	△2,187	△2,967
2021 年度実績値（B）	518	△1,425	△1,230	△737
増減額（B－A）	△266	△28	957	2,229
増減率（B－A）/A	△34.0%	-%	-%	-%

差異の理由

当期売上高は、新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックが発生し、世界経済、旅行業界は壊滅的な影響を受け、当社業績は過去にないほどの厳しい結果となりました。当社が事業を展開している日本およびタイにおいては、アジアだけではなく欧米を含むほぼ全世界からの旅行者やビジネス客の入国禁止措置がとられており、訪問客の数はほぼゼロのまま推移しており、前年度を下回る結果となりました。

当社営業利益は、売上高の減少により△1,425 百万円の営業損失となりました。

当社経常利益は、上記1.～4.にありますように、当連結会計年度において、支払利息 209,953 千円を営業外費用に計上し、△1,230 百万円の経常損失となりました。

当社親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失 730,019 千円を特別損失に計上したことにより、△737,240 千円の親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

6. 業績への影響

上記項目は、本日公表いたしました「2021 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の連結財務諸表に反映されております。

以 上